

大会競技規則

改訂

幼年・小学生・中学生の部

1. 競技方法

- ・3本勝負(2本先取した者の勝ち)とする。
- ・1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・判定により勝敗を決する場合は、次に示す順番により判定する。
①警告の有無 ②試合内容「優勢・劣勢」 ③技能

□試合方法

(1) 予選リーグ・決勝トーナメント戦方式

- ・取得本数が同数の場合は引き分けとする。
リーグ戦の順位は以下の順位で判断する。
①勝ち数が多いもの ②負け数が少ないもの ③取得本数が多いもの
④取られた本数が少ないもの

以上が同数の場合は再試合を1分間の1本勝負の延長戦を行う。

さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

~~再試合がリーグ戦になる場合は、1分間の3本勝負とし、⑤警告の有無を順位の判断材料に加える。(予選リーグで、それでも勝敗が決しない時、じゃんけんによって勝敗を決する。)~~

再試合がリーグ戦になる場合は、1分間の3本勝負とする。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

(2) トーナメント戦方式

- ・試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。
- さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

2. 試合時間

- ・試合時間は、1分間30秒とする。
~~ただし、予選リーグ戦の試合時間は、1分間とする。~~

3. 競技規則

- (1) 小学4年生以上は「少年ソフト面」を着装する。顔面への攻撃は全て「空撃」で当たらない。男子中学3年生のみ「一般面」を着装し、面への直接打撃を必要とする。
全学年共、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。
- (2) 小学4年生以上は、股当てをすること。
- (3) 使用できる「少年ソフト面」は、一般社団法人日本拳法競技連盟公認の面、又は大会実行委員会が認めた面とする。
- (4) 負傷及び再発防止のためのサポーター・テーピングの使用を認める。
ただし、肘や膝へのサポーターは綿の入っていないものとする。
- (5) 試合場で呼び出してもいない選手は失格とする。
- (6) 選手参加費未納者、ゼッケン未着装者は失格とする。
- (7) その他は、一般社団法人日本拳法競技連盟競技規則に則って行う。

大会競技規則

改訂

高校生・壮年・一般の部

1. 競技方法

- ・3本勝負(2本先取した者の勝ち)とする。
- ・1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・判定により勝敗を決する場合は、次に示す順番により判定する。
①警告の有無 ②試合内容「優勢・劣勢」 ③技能

□試合方法

(1)トーナメント戦方式

- ・試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。
さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、3分間の1本勝負の延長戦により勝敗を決する。
さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

(2)リーグ戦方式

- ・取得本数が同数の場合は引き分けとする。
リーグ戦の順位は以下の順位で判断する。
①勝ち数が多いもの ②負け数が少ないもの ③取得本数が多いもの
④取られた本数が少ないもの
以上が同数の場合は再試合を2分間の1本勝負の延長戦を行う。
さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

~~再試合がリーグ戦になる場合は、2分間の3本勝負とし、⑤警告の有無を順位の判断材料に加える。~~

再試合がリーグ戦になる場合は、2分間の3本勝負とする。

2. 試合時間

- ・試合時間は2分間とする。
ただし、一般男子(有段)の試合時間は3分間とする。

3. 競技規則

- (1)負傷及び再発防止のためのサポーター・テーピングの使用を認める。
ただし、肘や膝へのサポーターは綿の入っていないものとする。
- (2)試合場で呼び出してもいない選手は失格とする。
- (3)選手参加費未納者、ゼッケン未着装者は失格とする。
- (4)その他は、一般社団法人日本拳法競技連盟競技規則に則って行う。